

[第1 転回形どうしの連結例]

VII +6/3 I 6 VII +6/3 I 6

このような連結もまれにみられる

VII +6/3 VI 5 VII +6/3 IV 6 VII +6/3 III 5 VII +6/3 IV 6

[補足]

VII度和音は完全4・5度音程を含んでいないため、18世紀中頃まで、とくに対位法作品にもちいられた(転回対位法)。

6 6 7 VII +6/3 6 6 6 4/2 VII 5 5

● 第2 転回形

第5音は2度下行し、導音は主音へ進行する。
第5音は重複できない。

VII +6/4 I 6 VII +6/4 I 6 VII +6/4 I 6